

株主インフォメーション

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会 基準日	毎年1月に開催
定時株主総会 期末配当金	毎年10月31日
中間配当金	毎年4月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL（通話料無料）0120-094-777
特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL（通話料無料）0120-094-777 ○特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 TEL（通話料無料） 0120-244-479（本店証券代行部） 0120-684-479（大阪証券代行部） インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告方法	電子公告 http://www.kura-corporo.co.jp ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部

当社の貸借対照表、損益計算書は、EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

株主優待のお知らせ

毎年4月30日現在の株主名簿に記録された株主に対し、年1回くら寿司全店にて使用できるお食事券もしくは商品詰め合わせセットを贈呈します。

1株以上・・・食事券（3,000円）もしくは3,000円相当の商品詰め合わせセット
5株以上・・・食事券（5,000円）もしくは5,000円相当の商品詰め合わせセット
10株以上・・・食事券（10,000円）もしくは10,000円相当の商品詰め合わせセット

※毎年の中間報告書の発送に合わせて7月の発送を予定しています。

第13期 年次報告書

平成19年11月1日～平成20年10月31日



京都府金閣寺店



モバイル用 URL <http://m-ir.jp/c/2695/>

QRコード対応ケータイなら左のQRコードを読み取る
モバイル用URLが表示されます。

株式会社 くらコーポレーション
www.kura-corporo.co.jp


KURA CORPORATION

それは無添からの美味しさ。
 ほくもつ美味しさは昔の日本にあった。

「無添から寿司」は、古き良き【食の戦前回帰】を目指しています。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第13期における事業の概況をご報告申し上げます。

平成21年1月



代表取締役社長
 田中邦彦

当事業年度におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した金融・資本市場の混乱から、米大手証券の経営破綻で一気に危機感が膨らみ、株安・円高が急速に進行した結果、金融機関や輸出産業を中心とした企業の収益が悪化してきており、景気後退の色を濃くしております。

そのような経済環境の下、外食産業においては、ガソリン価格の高騰、生活用品の高値感と所得増大の期待薄感から、消費者は節約志向を強め、外食を手控えるムードが広がりつつある中、相次ぐ食品偽装などの不祥事に加え、農薬混入問題等が追い討ちをかけ、“食の安全”やサービスの品質に対する消費者の関心は一層高まり、環境対策とともに企業の取り組み姿勢が問われる局面が続いております。

このような状況の下、当社は経営理念であります“食の戦前回帰”の実現に向け、「安全・美味しい・安い」そして「楽しい」食事の提供に努力してまいりました。

販売促進面におきましては、当社の強みである食材調達力を活かし、産地とブランドにこだわった季節感あふれる旬のネタをご提供する「フェア」を毎月実施するとともに、平成19年の年末には、大変お買い得なお持ち帰りのセット商品を提供し大好評をいただくなど、顧客来店への動機付けを図ってまいりました。

また、携帯電話で登録した店舗の混雑情報の入手と、空席待ち順番予約ができる「携帯予約システム」に「時間指定予約」機能を追加、さらに、画期的な注文システム「タッチで注文」もソフト面を大きく改良、バージョンアップしお客様の利便性を高め、さらなる顧客満足度の向上を目指してまいりました。

これらの結果、既存店売上は前期に続いて前年実績を超え平均101.4%、来店客数においても平均100.6%と前年を超える実績を確保することができましたが、当事業年度後半からは既存店売上高が前年同月比で100%を下回る傾向が顕著となりました。

また、魚介類の高騰による食材原価の上昇、ガソリン価格の高騰による輸送コストの上昇も当事業年度後半に顕著となり、新規出店に伴う販売費及び一般管理費の増加とともに利益を圧迫する要因となりました。

店舗開発につきましては、商圏人口、アクセス、近隣状況等出店候補地を厳選しつつ、より広範な地域のお客様にすら寿司ブランドをお楽しみいただくため、福島県、栃木県、長野県に初進出を果たし、西日本で17店舗、東日本で24店舗の合計41店舗を新規出店、一方で、西日本で1店舗、東日本で3店舗の計4店舗を閉鎖したため、当事業年度末の店舗数は、全て直営店で223店舗（「無添蔵」4店を含む）になりました。

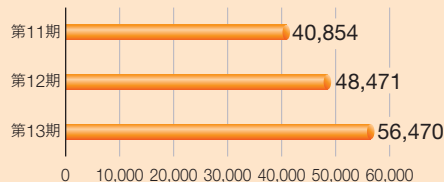
以上の結果、
 売上高 564億70百万円（前期比16.5%増）、
 営業利益 24億42百万円（前期比12.5%減）、
 経常利益 25億75百万円（前期比13.9%減）、
 となりました。

また、特別損失として、店舗閉鎖損失、固定資産除却損、米国の非連結子会社の株式評価損及び整理に伴う損失の引当計上並びに不採算店舗に対し減損損失の計上を行った結果、当期の純利益は、5億72百万円（前期比63.4%減）となりました。

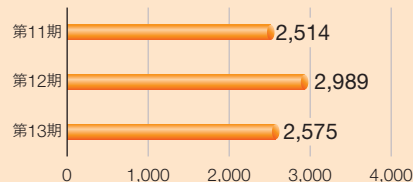
「食」に対して、「本当に安全なものがあるのか」、「何を信じていいのかわからない」といった不信感を抱かれていることに、「食」に携わる者として、つらく、悲しい思いとともに大きな責任を痛感いたしております。今こそ、行動指針である「見えなところを大切に」して、経営理念である“食の戦前回帰”を貫き通すことにより、皆様の食生活の改善に貢献することはもとより、日本の食文化の代表である「寿司」を通して、世界の人々の幸せに貢献できる企業となるよう邁進してまいります。

株主の皆様には一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

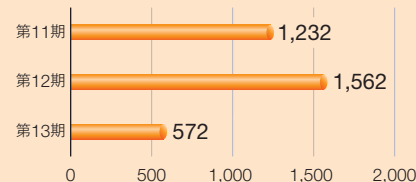
売上高 (単位:百万円)



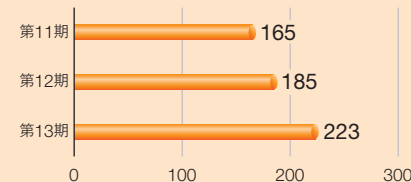
経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



期末店舗数 (単位:店)



新「タッチで注文」導入

平成20年2月の新規オープン店舗より、順次新機種のタッチパネルを導入。画面がより鮮明になり見やすくなったほか、全商品を写真つきでご紹介しています。

また、5皿毎にスタートする、お子様に人気の「ピックらボン」も、「回転むてん丸」達が登場する3種類のゲームを取り入れて新しくなりました。



お子様に大人気！回転むてん丸

平成19年12月「回転むてん丸」のキャラクターを製作。添加物を使用しない、古き良き日本の食を守るために主人公の「むてん丸」達が戦うストーリーです。

平成20年7月にトレーディングカード「第2弾」も発売！

様々な寿司ネタのキャラクターカードは、現在合わせて132種類。さらに、新たなストーリーキャラクターの誕生に向け、製作に取り組んでおります。ホームページ上では漫画も随時アップしておりますので、ぜひご覧ください。



食の安全・安心への取組み

安全・安心も「美味しさ」の一部と考え、無添くら寿司では、四大添加物を一切使用していません。

四大添加物とは、化学調味料・人工甘味料・合成着色料・人工保存料のことを指し、長い間摂取し続けると体内に蓄積されると言われています。無添くら寿司は、お客様の健康が最優先と考え、四大添加物の排除に挑戦しました。実現には10年もの歳月を要しましたが、これらの努力が実を結び、安全かつ安心な本物の美味しさをお届けしています。



こだわりの自家製・無添加寿司酢と新米を使用。

昔ながらの製法で発酵成熟させた米酢に、入浜式塩田の天日塩、砂糖、天然だして味付けした無添加の寿司酢を、今年採れたばかりの新米に合わせています。産地・精米方法にまでこだわり、当店のシャリはできあがりです。



カツオと昆布から丁寧にだしをとっています。

濃縮だしを使わず、毎朝お店で心を込めてだしをとるのが、無添くら寿司の日課です。ミネラルやアミノ酸を豊富に含む天然だしは、化学調味料ではだせない素朴な味わいを楽しんでいただけます。



塩分を25%もカットした独自のしょう油を開発。

無添くら寿司のこだわりのシャリにベストマッチするしょう油は、ネタの風味やわさびの香りを邪魔しない独自の開発です。塩分については、普通の濃口しょう油の25%もカットし、食品添加物についても一切使用していません。



調味料に頼らない本物の旨味があります。

例えばうなぎの場合、化学調味料を使って旨味をだしていることが多いのですが、当店のうなぎは無添加のタレで素材本来の旨味を生かしています。その他、いくらや紋甲いかなど、調味料に頼らない美味しさがあります。

■ 無添くら寿司では、トレーサビリティの一環として原材料・原産地情報をホームページにて掲載しています。加えて、アレルギーリストについても公開し、お客様の安心をお約束します。

財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当期	前期		当期	前期
	平成20年10月31日現在	平成19年10月31日現在		平成20年10月31日現在	平成19年10月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	[1,664,724]	[2,708,159]	流動負債	[5,675,733]	[4,951,580]
現金及び預金	593,618	2,005,220	買掛金	2,479,274	2,109,935
原材料	179,035	100,790	1年以内返済予定の長期借入金	281,250	205,000
貯蔵品	64,163	17,890	未払金	1,835,009	1,709,111
前払費用	395,106	322,226	未払法人税等	590,226	656,000
繰延税金資産	105,902	69,424	未払消費税等	79,991	223,879
未収入金	189,462	—	預り金	23,882	22,888
その他	137,435	192,607	前受収益	65,508	1,227
固定資産	[16,798,084]	[13,646,482]	役員賞与引当金	—	12,000
有形固定資産	(10,045,628)	(8,264,393)	関係会社整理損失引当金	110,666	—
建物	6,657,160	5,656,100	設備未払金	194,592	—
構築物	586,946	500,589	その他	15,331	11,537
機械及び装置	520,085	695,284	固定負債	[1,031,859]	[1,137,047]
車両運搬具	122	153	長期借入金	850,000	131,250
工具器具及び備品	426,904	507,957	長期未払金	67,748	—
土地	1,322,839	813,039	長期前受収益	103,513	—
建設仮勘定	531,568	91,269	預り保証金	10,597	5,797
無形固定資産	(108,570)	(96,467)	負債合計	6,707,593	5,088,627
ソフトウェア	100,298	88,196	(純資産の部)		
電話加入権	8,271	8,271	株主資本	[11,755,215]	[11,266,014]
投資その他の資産	(6,643,885)	(5,285,621)	資本金	(2,005,329)	(2,005,329)
関係会社株式	—	153,764	資本剰余金	(2,334,384)	(2,334,384)
長期貸付金	2,629,727	2,143,085	資本準備金	2,334,384	2,334,384
長期前払費用	627,914	469,775	利益剰余金	(7,415,501)	(6,926,789)
繰延税金資産	547,368	13,153	利益準備金	83,675	83,675
差入保証金	2,819,415	2,486,382	その他利益剰余金	—	—
保険積立金	—	19,460	別途積立金	6,660,000	5,160,000
その他	19,460	—	繰越利益剰余金	671,826	1,683,114
資産合計	18,462,809	16,354,641	自己株式	(—)	(△489)
			純資産合計	11,755,215	11,266,014
			負債・純資産合計	18,462,809	16,354,641

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

Point 1 売上高

既存店売上高は前期比101.4%となり、期初予想を上回りました。また、41店舗を新規出店し、全体の売上高は564億円と前期比16.5%増となり、期初予想を0.6ポイント下回る結果となりました。

Point 2 経常利益

経常利益は25億円と前期比13.9%減少しました。原価率が49.3%と前期比0.1ポイント上昇し、販売管理費も増加したため、対売上高営業利益率は前期比1.4ポイント減少しました。営業外費用が対売上高比率で前期比0.1ポイント上昇したため、対売上高経常利益率は前期比1.5ポイント減少しました。

Point 3 当期純利益

当期純利益は、5億円と前期比63.4%減少しました。特別損失の主な内容は、特別損失として減損損失8.1億円、関係会社株式評価損2.6億円、店舗閉鎖損失2億円、関係会社整理損失引当金繰入額1.1億円、固定資産売却損0.5億円となっております。

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当期	前期
	自平成19年11月1日至平成20年10月31日	自平成18年11月1日至平成19年10月31日
1 売上高	56,470,430	48,471,012
売上原価	27,812,736	23,833,305
売上総利益	28,657,694	24,637,706
販売費及び一般管理費	26,214,784	21,844,295
営業利益	2,442,909	2,793,410
営業外収益	209,327	210,543
受取利息	46,515	34,801
取手手数料	33,062	112,216
物販収入	109,079	53,332
雑収入	20,670	10,193
営業外費用	77,222	14,087
支払利息	9,616	10,754
為替差損	11,966	—
物販原価	49,219	—
雑損	6,420	3,333
2 経常利益	2,575,014	2,989,865
特別利益	—	42,442
貸倒引当金戻入益	—	8,400
貸借契約解約益	—	15,000
租税還付金等	—	19,042
特別損失	1,442,471	271,264
固定資産売却損	51,900	19,704
店舗閉鎖損失	201,307	249,326
減損損失	818,412	—
関係会社株式評価損	260,184	—
関係会社整理損失引当金繰入額	110,666	—
その他	—	2,234
税引前当期純利益	1,132,542	2,761,044
法人税、住民税及び事業税	1,131,000	1,192,163
法人税等調整額	△570,693	6,861
3 当期純利益	572,235	1,562,019

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	当期	前期
	自平成20年10月31日	自平成19年10月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,016,600	3,486,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,136,876	△2,619,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	712,001	△210,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,327	85
現金及び現金同等物の増減	△1,411,602	657,128
現金及び現金同等物の期首残高	2,005,220	1,348,091
現金及び現金同等物の期末残高	593,618	2,005,220

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書(要旨)

(自平成19年11月1日至平成20年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計				
平成19年10月31日残高	2,005,329	2,334,384	2,334,384	83,675	5,160,000	1,683,114	6,926,789	△489	11,266,014	11,266,014
事業年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
別途積立金の積立	—	—	—	—	1,500,000	△1,500,000	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△82,800	△82,800	—	△82,800	△82,800
当期純利益	—	—	—	—	—	572,235	572,235	—	572,235	572,235
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△234	△234	△234
自己株式の消却	—	—	—	—	—	△723	△723	723	—	—
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	1,500,000	△1,011,287	488,712	489	489,201	489,201
平成20年10月31日残高	2,005,329	2,334,384	2,334,384	83,675	6,660,000	671,826	7,415,501	—	11,755,215	11,755,215

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

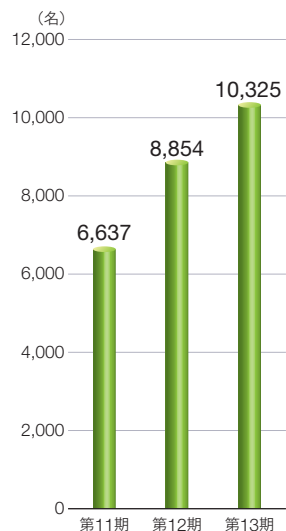
株式の状況 (平成20年10月31日現在)

- ◆ 発行可能株式総数 400,000株
- ◆ 発行済株式の総数 103,499株
- ◆ 当期末株主数 10,325名
- ◆ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社ウォルナットコーポレーション	23,795	22.99
田 中 信	11,558	11.16
田 中 邦 彦	10,878	10.51
野村信託銀行株式会社(信託口)	6,401	6.18
田 中 節 子	5,184	5.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,779	4.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,358	4.21
くらコーポレーション従業員持株会	1,594	1.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,444	1.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口)	960	0.92

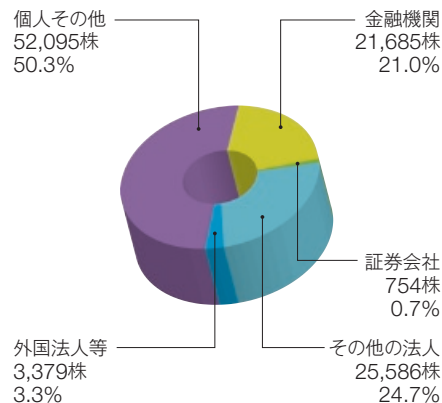
注) 出資比率については、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

◆ 株主数の推移

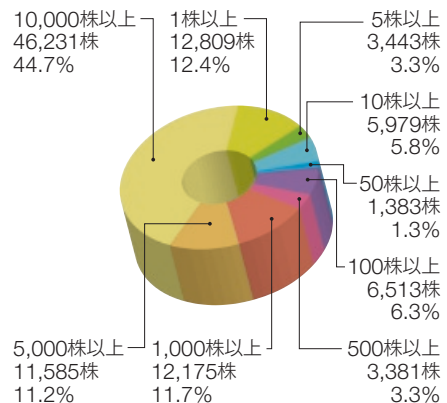


◆ 株式分布状況

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社の概要 (平成20年10月31日現在)

- ◆ 商 号 株式会社くらコーポレーション
- ◆ 創 業 昭和52年5月
- ◆ 会社設立 平成7年11月
- ◆ 代 表 者 代表取締役社長 田中 邦彦
- ◆ 売 上 高 564億円(平成20年10月期)
- ◆ 従業員数 868名(アルバイト・パート 5,138名)
1人1日8時間換算



水戸酒門店

- ◆ 事業所 本 社 / 大阪府堺市中区深阪1035番地2
大 阪 狭 山 事 務 所 / 大阪府大阪狭山市今熊1丁目550番地の4
埼 玉 事 務 所 / 埼玉県日高市馬引沢345番1
高 田 馬 場 事 務 所 / 東京都新宿区高田馬場4丁目23番34号 揺籃ビル1階
大阪狭山研修センター / 大阪府大阪狭山市今熊1丁目554番地の1
大 阪 セ ン タ ー / 大阪府堺市中区深阪1035番地2
埼 玉 セ ン タ ー / 埼玉県日高市馬引沢345番1
店 舗 / 西日本地区：128店
総計223店 東日本地区：95店

- ◆ 取引銀行 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、紀陽銀行

- ◆ 役 員 代表取締役社長 田 中 邦 彦 取 締 役 三田村 隆 夫
取締役副社長 安 井 篤 史 取 締 役 南垣内 啓 太
取 締 役 葛 木 啓 之 監 査 役 濱 井 征 一 郎
取 締 役 田 中 節 子 監 査 役 梅 本 弘
取 締 役 時 本 新 一 監 査 役 中 野 正 信
取 締 役 久 宗 裕 行

注)1 役員につきましては、平成21年1月29日現在であります。

注)2 監査役のうち、梅本 弘及び中野正信の両氏は社外監査役であります。

